

BOWLEX JAPAN 2016 in HIROSHIMA

日本商工会議所会頭杯争奪
第50回BPAJ全国ボウリング競技大会



● 参会者募集と編成

- ① ダブルスの部は、都道府県ボウリング場協会単位またはボウリング場単位で編成し、チーム名は、都道府県名またはボウリング場名を使用する。
- ② ダブルスの部は、年齢を問わず男女混合自由編成とする。
- ③ 前年度優勝者は、開会式にて優勝杯の返還を行う。(レプリカ授与)

● 参加資格

- ① (公社)日本ボウリング場協会加盟のボウリング場に所属するボウラーであって、都道府県場協会および所属する地区場協会から推薦されたものとする。従業員の参加も認めるが、1チームにつき1名までの参加を可とする。
- ② 各都道府県の代表の選考に関しては、各都道府県に一任する。
- ③ プロボウラー(すべての認定団体所属)は参加できない。(2016年度合格者を含む)
- ④ アマチュアとして申し込み後に、プロテストに合格し参加資格を喪失した選手の所属チームは、補欠選手を似て補うことができる。

● 競技内容

1. 会場センターはダブルスの部3ヶ所、スペシャルオリンピックスの部1ヶ所とし、ダブルスの部は、参加チーム数に応じて、決勝選出チーム数枠を設ける。
 - ・広電ボウル(40レーン) ・ミスズボウル(40レーン)
 - ・リネア24(24レーン) ・広島パークレーン(30レーン) スペシャルオリンピックスの部
2. ダブルスの部決勝は、広電ボウルで開催し、表彰式・閉会式も同会場で行う。スペシャルオリンピックスの部は、広島パークレーンで開催する。
3. ダブルスの部予選は、1人8ゲームを投球し、チーム合計16ゲームハンディキャップトータルにて、決勝選出チームを決定する。なお、予選8ゲームハンディキャップトータルは、会場別個人男女混合表彰の対象とする。
4. ダブルスの部決勝は、予選のトータルスコアは持ち込まず、0スタートとする。1人4ゲームを投球し、チーム合計8ゲームハンディキャップトータルにて、最終順位を決定する。なお、決勝4ゲームのスクラッチトータルは、個人男女別表彰の対象とする。
5. 予選は4ゲーム終了後、決勝は2ゲーム終了後にレーン移動を行う。
6. ハンディキャップは、持込みハンディキャップとし、下記内容の通りとする。
 - ・アベレージは、1ヶ所のボウリング場において、2016年3月31日からさかのぼった半年以内に公認30ゲーム以上を投球して、算出したものとする。なお、公認の規定は特に設けず、センターに一任する。
 - ・ハンディキャップは、男女とも基準点を210点、掛率を90%として算出する。ただし、上限は60点とする。
*HDPC = (210 - AVE) × 90%、MAX60
 - ・アベレージ、ハンディキャップとも小数点以下は切り捨てとして算出する。